

「第4回流域管理と地域計画の連携方策に関するワークショップ」プログラム

流域管理と地域計画の連携方策研究小委員会

1. 開催趣旨

流域管理と地域計画の連携方策研究小委員会は、土木学会水工学委員会と土木計画学研究委員会の研究者からなる両委員会共同所管の小委員会として平成14年10月に設立されました。

小委員会では、水工学と土木計画学に携わる研究者および都市と河川行政関係者が今後の流域管理と地域計画の具体的な連携方策について議論し、国土交通省水管理・国土保全局の河川砂防技術研究開発制度等と連携して特定課題について共同研究等を実施することにより、流域管理と都市・地域計画の相互連携による総合的なまちづくりの実現を目指しています。

また、近年、水害が頻発・激甚化するとともに、渇水の頻発や深刻化の懸念が指摘されている中、水害に対する流域の安全性の向上や健全な水・物質循環系の構築等、流域計画・流域管理上の技術課題や政策課題を解決するためには、河川、都市計画の両分野に加え、下水道分野との連携が従来にも増して重要となっており、環境工学委員会との連携の取組も始めたところです。

流域管理と地域計画の連携方策に関する取組やその課題等を土木学会会員と行政で共有するとともに、これらの課題に対する理解を深めることを目指し、平成25年から「流域管理と地域計画の連携方策に関するワークショップ」を開催しております。皆様のご参加をお待ちしています。

※ 当ワークショップは、「土木学会 CPD プログラム」として認定されています。(認定番号: JSCE16-1028、単位数: 3単位)

2. 開催日時、場所等

日時: 平成28年11月15日(火) 14:30~17:30

場所: 土木学会講堂(東京都新宿区四谷) <http://www.jsce.or.jp/contact/map.shtml>

主催: 土木学会 流域管理と地域計画の連携方策研究小委員会、水工学委員会、土木計画学研究委員会

3. プログラム(一部、予定の箇所有り)

【全体テーマ】水害リスクを踏まえたまちづくりの実践に向けて必要な議論とは何か ~事例研究等を踏まえて~

(1) 趣旨説明

(2) 基調講演

- ・石徹白 伸也(八千代エンジニアリング(株))
- ・田中 尚人(熊本大学 准教授)

(3) 話題提供

- ・小笠原 敏記(岩手大学 准教授、土木学会台風10号東北水害調査団団長)
(土木学会台風10号東北水害調査団による調査結果(小本川)について)

(4) ディスカッション

- ・基調講演、話題提供の内容を題材にして、上記の全体テーマについて討議

〈ファシリテーター〉

小池 俊雄(東京大学大学院 教授)

〈パネリスト 五十音順 (予定)〉

石徹白 伸也(八千代エンジニアリング(株))、小笠原 敏記(岩手大学 准教授)、奥村 誠(東北大学 教授)、立川 康人(京都大学大学院 教授)、田中 尚人(熊本大学 准教授)、古米 弘明(東京大学大学院 教授)

※ 終了後、会場にて懇親会を予定しています。

4. 参加申し込み

定員(100名)に達した場合は締め切らせていただきます。お早めに申し込みください。

参加費: 無料(懇親会費: 3,000円(予定))

申し込み方法: 平成28年11月7日(月)までに電子メールで下記の宛先までお申し込みください。

その際、ご所属・勤務先、お名前、電子メールアドレス、懇親会の出欠をお知らせください。

(宛先) 国土交通省水管理・国土保全局河川計画課河川情報企画室 古瀬 友紀

Tel:03-5253-8446, furuse-t85aa@mlit.go.jp

(内容に関する問合せ先) 京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻 立川 康人

Tel:075-383-3362, tachikawa@hywr.kuciv.kyoto-u.ac.jp

国土交通省水管理・国土保全局河川計画課河川情報企画室 目黒 嗣樹

Tel:03-5253-8446, meguro-h25y@mlit.go.jp